

経営比較分析表（令和元年度決算）

和歌山県公立那賀病院経営事務組合 公立那賀病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	27	対象	ド透訓力	救臨が感災輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	22,708	非該当	7：1	

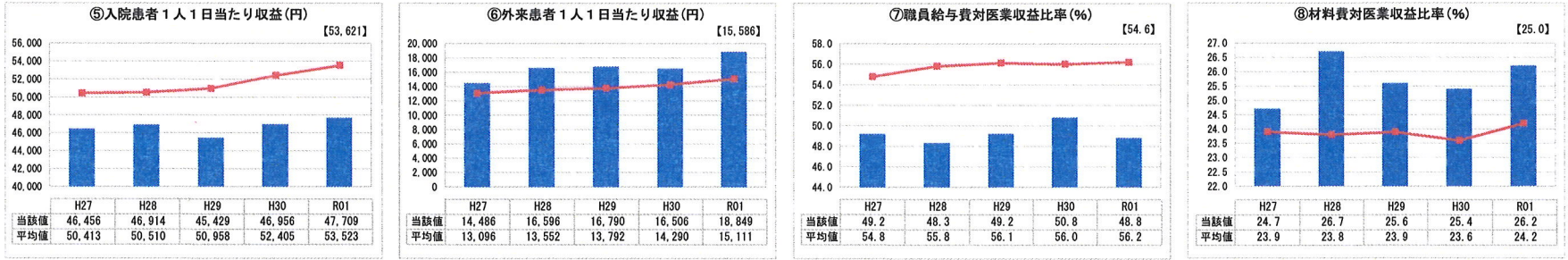
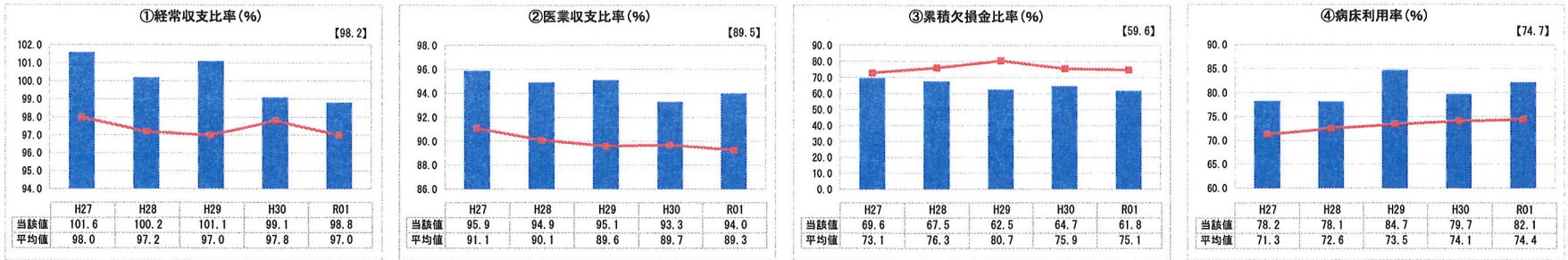
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

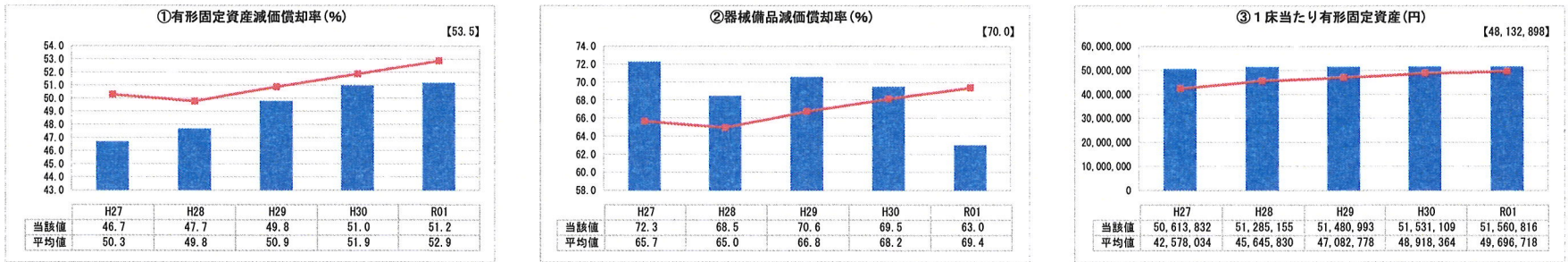
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
300	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	304
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
294	-	294

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
[] 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割
那賀保健医療圏における基幹病院として、高度医療・救急医療の提供に努めており地域の開業医との連携も進めている。また地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、感染症指定医療機関など地域における様々な拠点病院としての責務も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度においては経常収支比率が100%を下回ったが、病院経営の主要指標である経常収支比率、医業収支比率、病床利用率において平成27年～令和元年度において当院は平均値を上回っており、健全性・効率性を確保出来ている状態であると考えている。様々な要因がある中で平均値を下回っている指標もあるので改善するよう努めていく。

2. 老朽化の状況について

老朽化の指標については、有形固定資産減価償却率が概ね平均値近辺にあり平均的な状態にあると考えている。当院は病院建築後20年以上が経過することもあるので、最適な医療環境を提供できるよう計画的な投資の実施に努めていく。

全体総括

経常収支比率100%以上を平成22年度より継続していたが平成30年度・令和元年度においては下回った。再び100%以上となるよう病院一丸となり取り組んでいるところである。主要な指標において全国の平均値を上回っており、病院としての様々な取組が表れていると考えている。しかし病院を取り巻く環境は厳しさを増しているため、安定した経営を継続していけるように努めていく。